

令和2年度第2回青森市景観審議会 会議概要

会議名	令和2年度第2回青森市景観審議会
開催日時・場所	令和2年10月9日(金) 15時00分～16時00分 青森市役所 柳川庁舎2階 大会議室
出席者	<p>&lt;審議委員&gt;</p> <p>伊藤 芳男 委員、香取 真理 委員、楠美 耕作 委員、斎藤 嘉次雄 委員、 齊藤 裕一郎 委員、玉熊 訓 委員、常田 隆是 委員、中崎 良次 委員 松野 ミツ 委員、森内 忠良 委員</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>都市整備部 部長 平岡 弘志 理事 高村 功輝 次長 佐々木 浩文</p> <p>(事業担当課)</p> <p>都市整備部都市政策課 課長 坂牛 裕、副参事 武田 泰孝 主幹 馬場 大士、技師 長尾 良太 都市整備部建築営繕課 課長 新山 明德、主査 鳴海 剛士</p>
欠席者	飯田 善之、金子 由紀子 委員
担当課	<p>案件 青森市景観計画の変更</p> <p>「【資料】青森市景観計画(変更)」(素案)に基づき説明。</p>
委員	青森地区景観方針図(東部)の久栗坂小学校のイタヤカエデは枯死したと思う。確認してほしい。
担当課	確認いたします。
委員	<p>青森市総合計画には前期と後期の基本計画があるのか。</p> <p>案内・誘導サイン等の整備に関する事項で、使用書体を角ゴシック体とあるが、丸ゴシック体など、他の書体も含めていただきたい。</p>
担当課	<p>前期と後期の基本計画がそれぞれ5年で、あわせて10年の計画となっている。</p> <p>案内・誘導サイン等の使用書体を角ゴシック体とした理由は、仙台市などで使用している事例が多かったためである。視認性を考慮し、角ゴシック体で整理させていただいたが、原則としてであるため、ご意見の趣旨は含まれている。</p>
委員	<p>基本理念である「青い森」、「青い海」、「青い空」との表現は、市民にわかりやすい。広く市民にシェアできれば景観意識が高まると思う。</p> <p>「景観形成重点地区」の資産範囲内の主要な視点場から、その眺望を妨げないよう配慮するという。観光客の方が、三内丸山遺跡周辺に目立つ建物があると、観光気分も薄れてしまうと思うので、このような分かり易い言葉は非常に良いと思う。</p>

	<p>また、地域別の推奨色と市推薦樹種の範囲や具体的樹種を示していただいたので、今後、意見を述べる際非常に参考になると思う。</p>
委員	<p>浪岡城址は、景観形成重点地区に当てはまらないのか。</p>
担当課	<p>浪岡史跡の取扱いについては、今後考えていかなければいけないと思っているが、今回は、世界文化遺産登録に向けて取組を進めている、三内丸山遺跡と小牧野遺跡とさせていただいている。</p>
委員	<p>「青い森」、「青い海」、「青い空」との基本理念については、これに向かっていけばよいものができると思う。</p> <p>また、景観に係る問題として、市内の公園等の草刈りをしっかりやってほしいと思う。</p>
委員	<p>行為制限の項目について、太陽光発電があるが、新城山田の太陽光発電設備は該当になるのか。</p>
担当課	<p>景観形成重点地区について、太陽光発電設備を届出対象行為としている。</p>
議長 (会長)	<p>案件については、当審議会として異議のないものとしてよろしいか。</p>
委員	<p>(異議なし)</p>
議長 (会長)	<p>異議がないようですので、案件「青森市景観計画の変更」について、異議のないものとする。</p>